



2023年2月14日

各 位

会 社 名 株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド
代表者名 代表取締役社長 兼 CEO/CFO 瓜生 憲
(コード番号 4436 東証グロース)
問合せ先 経営管理本部 執行役員 前田 陽介
(TEL : 03-6867-1531)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年2月14日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、昨年5月12日の2022年3月期決算発表時に開示した2023年3月期(2022年4月1日~2023年3月31日)の連結業績予想を以下の通り非開示とすることとしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正(2022年4月1日~2023年3月31日)

	連結売上高	EBITDA	連 結 営 業 利 益	連 結 経 常 利 益	親会社株主 に 帰 属 する 当 期 純 利 益	1 株 当 たり 連 結 当 期 純 利 益
前回発表予想(A)	7,500	2,150	1,250	1,120	750	50.31
今回修正予想(B)	—	—	—	—	—	—
増減額(B-A)	—	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—	—
(参考)前期連結実績 (2022年3月期)	5,482	1,539	874	828	696	47.26

2. 修正の理由

2023年3月期におきまして、ソリューション事業につきましては、従前の情報系ソリューションによる既存ラインナップのストック収入の拡大に加え、大口の汎用系情報ソリューションサービスが開始されたほか、スケールを伴いながら新たな領域にスコープを拡大する付加価値の高いシステム系ソリューション領域への参入、子会社である Prop Tech plus 株式会社の前連結会計年度における株式の追加取得並びに堅調な事業成長により、引き続き安定的に成長を継続しております。

しかしながら、当第3四半期連結累計期間においては、情報系ソリューションサービスにつきましては、米国株ソリューション等新規サービス開始に伴う減価償却費、データ購入費・ライセンス料、外注費の増加といった先行投資が継続する一方、顧客金融機関の業績悪化等を背景に、顧客への導入が想定よりも遅れました。当該遅延による影響をシステム系ソリューションの増収で補うも、システム系ソリューションの粗利率が情報系ソリューションに比較して低いため、期中でのセールスマックスが悪化し、一時的に利益率が低下しております。

メディア事業におきましては、世界的な広告市場の減速に加え、主力アフィリエイト2サイト（minkabu.co.jp と minkabu.jp 内で展開）の間にカニバリゼーションが発生したことにより、両サイトともに検索順位が大幅に低下したことで、高利益率の成果報酬型広告売上が悪影響を受けております。

また、「Kabutan（株探）Premium」を始めとしたサブスクリプション型サービスによる課金収入につきましては、積極的なユーザー獲得施策による拡大策を見込んでおりましたが、株式市況の低迷に加え、世界的原材料や燃料費等の価格上昇により国内においても歴史的な物価上昇率を記録している状況下、前年同期比較で堅調に推移しているものの、各種ユーザー獲得施策が当初見込んだ効果を生む状況には至っておりません。

このような当第3四半期累計期間までの状況を鑑み、アフィリエイトサイトのカニバリゼーションの解消や金融依存型からの脱却とサービス強化に加え、拡大するグループアセットを活用した費用の削減等、事業環境の変化による影響を一時的とする対応を迅速に進めております。

第4四半期にこれらの各種施策の効果の見極めや季節性変動要素、将来の持続的な成長に向けたグループ再編に関連した各種施策の対応やこれらにかかる会計処理等の検討を行っており、現時点ではこれら一連の対応の影響度を正確に見積もることが困難であるため、当期連結業績予想は非開示とし、2023年3月下旬を目途に見定めた上で速やかに開示いたします。

なお、2022年12月28日付で子会社化した株式会社ライブドアにつきましては、2022年12月31日をみなし取得日といたしました結果、連結売上高で940百万円、連結営業利益で70百万円の貢献を見込んでおります。

また、2023年3月期期末配当予想（1株当たり24円）の変更はありません。

以 上